

2021年7月30日

センサーを置くだけで競合が見える！

“Digital 東京 ライバルスコープ”スタート

Oxyzen（オキシゼン）株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 CEO：松井 康至）は、オフラインデータを独自センサーで取得し、特許出願済みのデジタルツイン技術により、センサーを置くだけで周囲の競合店舗などの様子を把握することができるサービス、“Digital 東京 ライバルスコープ”を 2021 年 7 月 30 日（金）にスタートいたしました。



■ライバルスコープとは？

独自の Wi-Fi センサーを設置するだけで、周囲を行き交う人々の店舗の利用傾向やブランドなどのシェア率などをつぶさに把握することができます。業種・業態などのカテゴリーはどんどん追加され、またカテゴリー追加のご要望にもお応えすることで、さまざまな角度からのマーケティング分析が可能となります(<https://digitaltokyo.io/rivalscope/>)。

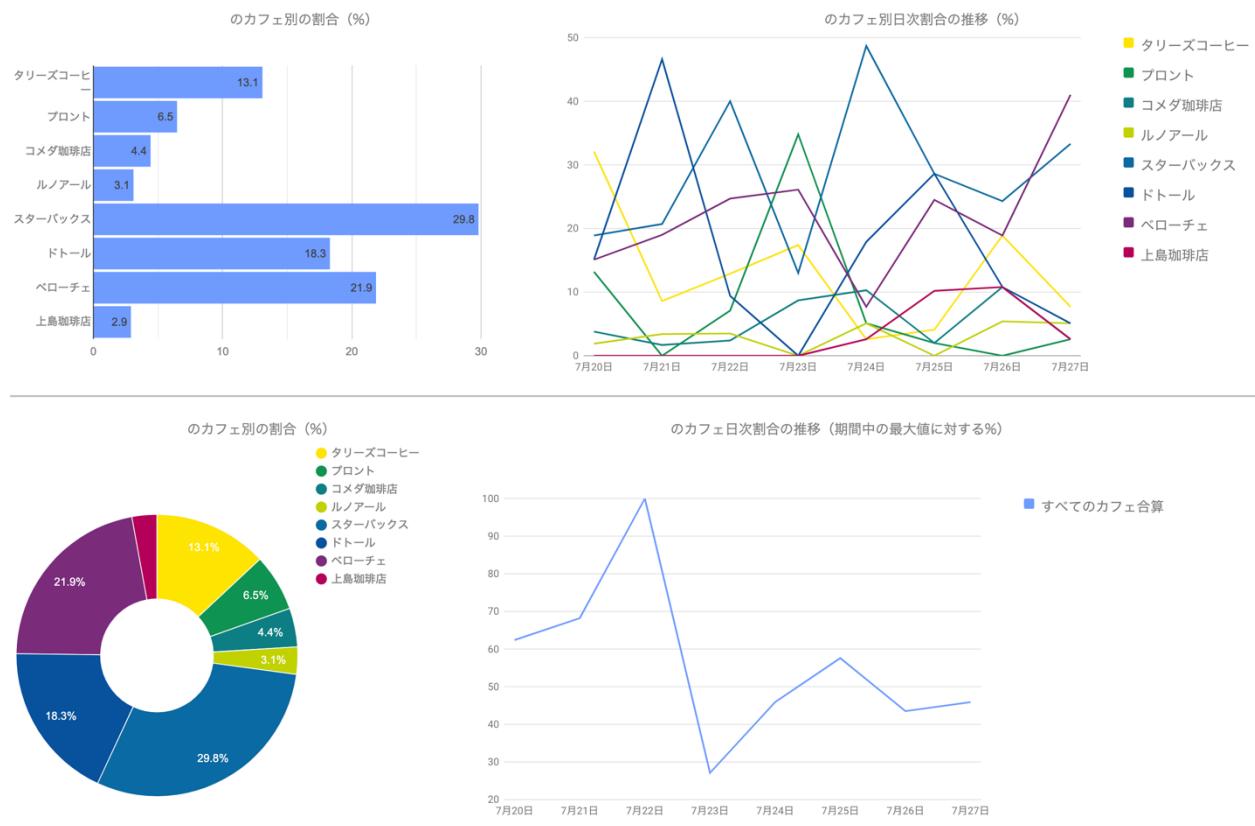


<https://digitaltokyo.io/rivalscope/>

■ライバルスコープで何が分かるの？

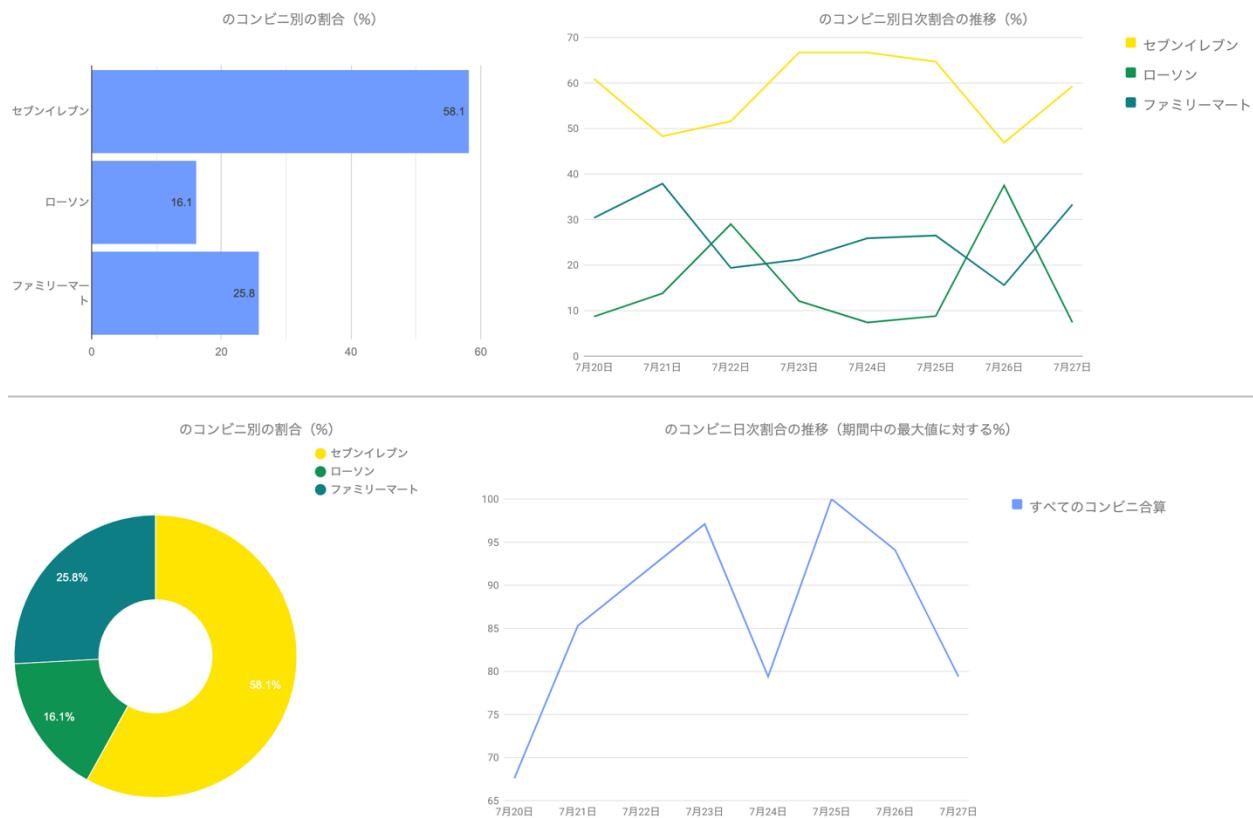
センサーを設置するだけでセンサー周囲の人々のライバル店舗の利用状況や、また、センサーを複数店舗に設置することで店舗に訪れた顧客のライバルブランドの利用率を把握することができます。Web ダッシュボード、CSV 出力、API（開発中）などさまざまな使い方に対応しています。

下の画像は、ある拠点の人々のカフェのシェア率と、日別のシェア率の推移です。この拠点ではスターバックスの利用者が最も多いですが、毎日一番という訳ではなく、日によってはドトールやプロント、ベローチェが一番の日もあることが分かります。



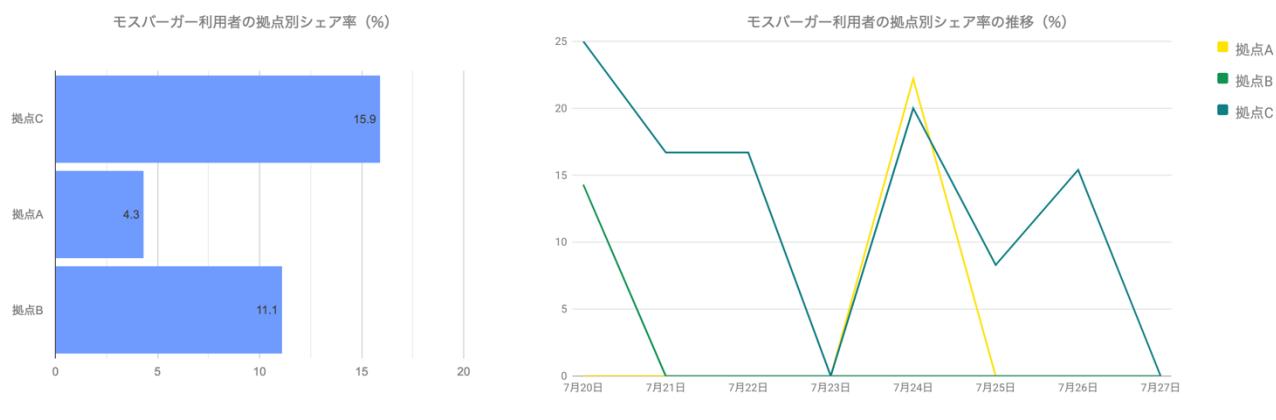
*対象期間：2021年7月20日（火）～2021年7月27日（火）

ある拠点の人々のコンビニのシェア率と、日別のシェア率の推移です。この拠点ではセブンイレブンの利用が最も多くかつ1週間を通して常に多いことが分かります。ファミリーマートとローソンが拮抗していることも分かります。



*対象期間：2021年7月20日（火）～2021年7月27日（火）

複数の拠点でのモスバーガーのシェア率の比較です。拠点Cのシェア率が15.9%と最も高いですが、常に高いということではなく、7月24日では拠点Aのほうが高い日も認められました。



■ 利用料金は？

基本料金（年間契約の場合）はセンサー1台につき、月額10,000円となります。

- * 電源とインターネット回線が必要です。
- * 現在サービスにないカテゴリーについてはご相談承ります。
- * ご契約時のご利用サービス名は「Digital 東京基本サービス」となります。

【Oxyzen 株式会社 概要】

本社：東京都港区東新橋2-12-1

PMO 東新橋 7F

設立：2015年3月10日

資本金：16,000,000円

代表取締役社長 CEO：松井 康至

取締役副社長 CFO：権 太龍

取締役 CTO：森谷 武浩

URL：<https://oxyzen.io>

：<https://digitaltokyo.io/rivalscope/>

お問い合わせ先

TEL：03-6370-0771

E-mail：pr（アット）oxyzen.io

コンタクトフォーム：

<https://oxyzen.io/#contact>